

科目名	施術総論							年度	2025
英語科目名	The surgical operation general remarks							学期	後期
学科・学年	柔道整復科　1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	後藤晃弘、宮本功三、杉本知	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】 柔道整復師が業務範囲で行う処置の基礎を学ぶ。									
【科目の概要】 各外傷に対応する柔道整復術の基礎を学びます。									
【到達目標】 柔道整復学の基礎となる人体の構造や機能、ここでは人体の構造や機能を中心に学び理解していくことを目的としている。知識と基盤に立ってさらに臨床の場で特に鑑別診断に必要な知識となれるよう、さらにそれらの知識を応用して緊急な状態にあるものに対して適切な判断、適切な処置ができるよう、柔道整復師の業務で要求されるレベルで説明できるようになることが到達目標である。									
【授業の注意点】 医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きや学生の状況などを概説するので、自分でも情報を収集し起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	問診の進め方について大変よく理解している。	問診の進め方についてよく理解している。	問診の進め方についてだいたい理解している。	問診の進め方についてあまり理解していない。	問診の進め方について全く理解していない。				
到達目標 B	骨折・脱臼の整復法について大変よく理解している	骨折・脱臼の整復法についてよく理解している	骨折・脱臼の整復法についてだいたい理解している	骨折・脱臼の整復法についてあまり理解していない	骨折・脱臼の整復法について全く理解していない。				
到達目標 C	軟部組織損傷の初期処置について大変よく理解している。	軟部組織損傷の初期処置についてよく理解している。	軟部組織損傷の初期処置についてだいたい理解している。	軟部組織損傷の初期処置についてあまり理解していない。	軟部組織損傷の初期処置について全く理解していない。				
到達目標 D	指導管理について大変よく理解している。	指導管理についてよく理解している。	指導管理についてだいたい理解している。	指導管理についてあまり理解していない。	指導管理について全く理解していない。				
到達目標 E	外傷予防について大変よく理解している。	外傷予防についてよく理解している。	外傷予防についてだいたい理解している。	外傷予防についてあまり理解していない。	外傷予防について全く理解していない。				
【教科書】 教科書（柔道整復理論・社団法人全国柔道整復学校協会監修-）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

